

# 春の歌

青木信・選

大き海いほへちへなみの五百重千重浪波ほのほのぼの匂にひはるひ新春来る

佐佐木信綱

春がすみいよ濃くなる真昼間のなにも見えねば大和と思へ

前川佐美雄

三ヶ日人来ず訪はず中国の五千余年史の片端を読む

佐佐木由幾

賀状読み終ればなにもすることのなき一年のはじまるめでた

竹山 広